

## 高等学校段階の病気療養中等の生徒の教育機会や復学支援に関する実態調査の結果【概要】

令和3（2021）年10月1日  
栃木県教育委員会事務局 特別支援教育室

調査の目的	各病院が行っている病気療養中等の生徒の教育支援の実態を把握することにより、病気療養中等の生徒に対する教育保障の充実に向けた今後の方策を検討するため。
調査対象 (がん診療連携拠点病院等)	①県立がんセンター ②那須赤十字病院 ③上都賀総合病院 ④済生会宇都宮病院 ⑤自治医科大学附属病院 ⑥獨協医科大学病院 ⑦足利赤十字病院 ⑧芳賀赤十字病院 ⑨佐野厚生総合病院
調査方法	アンケート用紙（メールで各病院地域支援センター担当者宛送付）
調査時期	令和3（2021）年5月24日～7月16日
回答結果	回収数8病院（回答率：88.9%）

### I 令和2年度に入院した高校生の教育支援の実施状況等について

1. 病気やけがにより長期（授業がある日に30日以上）入院した高校生はいましたか？
4. 生徒の退院時における在籍校との情報共有について教えてください。

	病院数
いた	3
いなかった	5

- (1) 情報共有はどのような方法で行いましたか。該当するもの全てに○をつけてください。

2. 1で「いた」と回答した生徒の修学状況に該当する人数を記入してください。

	人数
欠席扱いだった	10
休学した	4
退学した	1
転学した	0
把握していない	8

	病院数
情報交換会を実施	1
書面による連絡	1
電話やメールによる連絡	1
その他	0
行わなかった	2

- (2) 情報共有を行う際に貴病院の連絡担当者は決まっていたか。

3. 1で回答した生徒の貴病院での教育支援の状況について、該当するもの全てに○をつけてください。（複数回答）

	病院数
いた	1
いなかった	1

	病院数
病室以外の学習場所の提供	1
在籍校による自主学習教材の提供	2
在籍校教員による訪問指導	1
在籍校による遠隔授業	1
ボランティアによる支援	0
治療優先のため何もせず	2

## II 教育支援の環境について

1. 生徒が在籍校教員の対面授業を受けたり、相談したりする場所の提供はできますか？

	病院数
申出があれば個別に提供可能	6
面会スペースまたは大部屋で可能	2

2. 遠隔授業は実施可能ですか。

	病院数
可能	5
不可能	3

3. 遠隔授業を受ける場合、Wi-Fi の接続はできますか。

	病院数
可能	3
不可能	2

4. 遠隔授業を受ける場所がありますか。

	病院数
ある	5
ない	0

5. それはどのような場所ですか。あてはまるものに○をつけてください。

	病院数
病室（個室）	5
面会スペース	0
その他	2 相談室、会議室、面談室、分教室等

6. それはどのような環境ですか。

	病院数
学習に専念できる	3
時々人の出入りがある	2

## III 入院した高校生の教育支援や退院時の情報共有を行う上での課題をご記入ください。

（自由記述。複数回答）

- Wi-Fi の整備や個室確保などのハード面の対応は難しい。
- インターネット設備の充実。
- 高校生の入院については、できるだけ長期休業に治療ができるよう調整している。授業日の入院については本人・家族・学校と相談しているが、学校や教員によって対応が異なる。病院もそうだが、窓口を明確にすると良い。
- 病院スタッフに経験がないとハードルが高い。
- 急性期の病院であり、長期入院でも1か月程度である。過去に入院した高校生は自室で自主学習していた。支援が必要になる場合には学校と密に情報交換を行いながら支援できたらと考えるが、短い入院期間で、どこまで密に関われるかが課題。
- 長期入院する高校生の事例がなく、院内に教育環境を整える検討をしたことがない。ニーズによっては院内での検討が必要。
- 学校が入院することを把握した場合は、病院での教育支援について学校が本人・保護者に情報提供しても良いのでは。
- 復学支援の必要性が浸透しておらず、不十分。
- 退院時の情報共有については、具体的にどのような情報を共有すべきか、医療従事者、家族への理解協力が必要。